

平成28年9月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成28年9月15日（木）午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員 教育長 奥 真弥
教育長職務代理者 北浦 秀樹
委 員 南 一早枝
委 員 畑谷 扶美
委 員 山下 潤一郎
委 員 中村 スザンナ
委 員 赤坂 敏明
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
教育部長 上野 正一
スポーツ推進担当理事（兼）スポーツ推進課長 谷口 洋子
教育総務課長 極葉 浩司
教育総務課教職員担当参事 茶谷 由孝
教育総務課施設担当参事 福島 敏
教育総務課文化財担当参事 鈴木 陽一
教育総務課学校給食担当参事（兼）学校給食センター所長 藪 剛司
学校教育課長 辻 和彦
学校指導担当参事 明渡 賢二
学校教育課人権教育担当参事 和田 哲弥
生涯学習課長 山隅 唯文
青少年課長 唐池 明彦
（庶務係） 教育総務課主幹兼係長 森 昌俊
5. 本日の署名委員 委 員 赤坂 敏明

議事日程

報告第30号 教育委員会後援申請について（教育総務課）

報告第31号 教育委員会後援実施報告について（教育総務課）

議案第22号 泉佐野市立小学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の一部改正について（教育総務課）

議案第23号 泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について（教育総務課）

（午後14時00分開会）

奥教育長

ただ今から平成28年9月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

委員全員が出席をされておりますので、会議が成立しています。

本日の会議録署名委員は、赤坂委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、本日の審議に入ります前に、8月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

〔修正点の確認〕

修正等よろしいでしょうか。無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、北浦委員は後ほど署名をお願いします。

それでは、本日の審議に入りたいと思います。

最初に報告第30号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

榎葉教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料第30号に基づいて説明。新規5件、継続3件の事業内容について、一括で報告。

奥教育長

先ほど8件について後援申請の説明がありましたが、この件に関しましてご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

南委員

新規、2件目の「大阪府中学校技術家庭科研究大会」について、11月21日と22日の2日間で6つの会場で4回開催されるということでしょうか。

榎葉教育総務課長

11月21日にホテル・アゴーラ大阪守口で理事会が行われます。11月22日に豊中市立アクア文化ホールでは全体会が、大阪府内北摂の4中学校では各分科会が行われます。

北浦委員

実施されるのは、来年（平成29年）の11月なのですね。申請期日について規定はないのですか。

樫葉教育総務課長

特に規定はありません。印刷物等々の準備が必要な場合もありますし。

北浦委員

歴史ウォークについて、事業の対象について説明して下さい。

鈴木文化財担当参事

対象は大阪府民ですが、泉佐野市民の方には、会員価格でご参加いただけるということです。

北浦委員

開催日が平日ですから大人ですよ。また、開催場所が阪和線の長滝駅から新家駅とありますが、これは長滝駅から新家駅の間の名所遺跡を巡っていくという意味合いでしょうか。

鈴木文化財担当参事

長滝駅を出発して、蟻通神社や塙団右衛門の墓から奥家住宅、樫井古戦場跡などを經由して、JR新家駅をゴールとするようなコースになっております。距離的には7kmということです。2回目の佐野町場迷宮案内ですけど、南海線泉佐野駅をスタートして、食野家跡となる第一小学校や新川家住宅などを巡り、りんくうタウン駅をゴールとするコースになっております。

南委員

それぞれ歴史的背景などの解説をしてくださるのですか。

鈴木文化財担当参事

歴史館の指定管理者となっている大阪府文化財センターの職員が解説します。

奥教育長

他ございませんか。

赤坂委員

継続なので前にも質問があったかもわかりませんが、小森陽一氏という方のプロフィールを教えてくださいませんか。

中村委員

「平和を考える集い」という事業については記憶にはありますが、小森陽一氏という名前がフルネームで出てきたのは、初めてと思います。

山隅生涯学習課長

小森陽一氏のプロフィールについて資料を読みます。九条の会事務局代表で、1953年東京生まれ。現在東京大学大学院総合文化研究科教授。日本近代文学専攻。著書に「漱石を読み直す」・「日本語の近代」・「宮沢賢二講義」・「天皇玉音放送」・「座談会昭和史」などがある、ということです。

赤坂委員

この方の講演を聴いたり、平和について一緒に考えたりする会と理解してよろしいでしょうか。

山隅生涯学習課長

はい。

奥教育長

これはそしたら泉佐野市だけでなく、熊取町とか教育委員会等々も後援しているのですか。継続ですからね。場所は熊取ですよ。

山隅生涯学習課長

場所は熊取の煉瓦館です。他の市町村の後援の資料を持ち合わせておりませんので、熊取町が後援しているか否かは確認できません。

奥教育長

わかりました。他ございませんか。

中村委員

新規の親子ハイキングと継続のワクワクふれあいハイキングですが、担当課が違うのはわかるんですが、佐野リンピックとスポーツフェスタみたいに、違う課がそれぞれスポーツ振興を目的とする同様の事業が行われていて、調整ができないのかなと思うのですが。

奥教育長

説明をお願いします。

谷口スポーツ推進担当理事

親子ハイキングについては、泉佐野市スポーツ推進委員協議会の主催です。同団体は例年夏に水泳教室を実施していたのですが、今年から着衣水泳を1回実施するだけになりました。それを受けて子どもたちにいろんなスポーツを楽しんでもらう機会をもってもらいたいと、小学生等とその親を対象に「親子ハイキング」を企画したところです。このような経緯で任意団体が自主的な企画をしていますので、あまり行政が口を出すのもいかがかと思えます。

上野部長

私は現役の青少年指導員で、「ふれあいハイキング」の実行委員もやらせていただいておりますが、青少年指導員の目的は、青少年の健全育成であって、スポーツを推進するために「ふれあいハイキング」を実施するものではありません。幼稚園児から中学生まで、また保護者と一緒になって、今回は大木地区の日根荘の故地を巡りながら、途中のチェックポイントに立ち寄ったり、カレーを作って食べていただいたりするという事業です。第39回とありますように、例年11月第3日曜日に開催しているものです。ぜひ1度ご参加いただけたらありがたいなと思えます。

中村委員

「ふれあいハイキング」については、これまで何度か参加したことがあります。幼稚園児では距離的につらい時もあるけど、その時はリタイヤしてもいいよというアナウンスもあったので、途中で帰ってきたという記憶があります。だから、今回の「親子ハイキング」のような距離の短かいものがあれば、若年層はそちらをすすめるなどの運用ができないかと思っていました。ですから、良く似た内容の事業が複数あるときには、対象年齢を分けるなどの工夫があっても良いのではないのでしょうか。

上野部長

ご指摘のとおり、以前は日根野中学校を出発して稲倉池まで行ったりとか、距離もそうですが、勾配のきついコースもあったと記憶しています。ただ近年は、複数のコースを用意するなど、選択肢を示させていただくなどの工夫もしているところです。

奥教育長

よろしいですか。「親子ハイキング」は、泉佐野丘陵緑地に集合して、その中を回るのですか？

谷口スポーツ推進担当理事

そうです。新しい施設なので、市民に知っていただくということが目的のひとつです。ガイドさんのお話を聞きながら一緒に回ってハイキングをした後、今年モンゴルから来てる交流員の方もスポーツ推進委員に入ってくださいましたので、モンゴルでやっているようなゲームを紹介してもらいながらみんなで楽しく遊んで体を動かすといった内容を含んだものです。ただ初めてなので、どのような展開になるかはわからないところですが、コース的に言うと、丘陵緑地の中なので、そんなに厳しいものにはならないと考えています。

奥教育長

他にありませんか。無いようですので、以上で報告第30号を終わります。

次に、報告第31号「教育委員会後援実施報告について」を議題とします。事務局からの報告をお願いします。

檜葉教育総務課長

報告第31号については、教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料第31号をもって説明にかえさせていただきます。

奥教育長

只今、事務局から報告がありましたが、委員の皆さんでご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

畑谷委員

今回第1回目ということで開催された小学生の着衣水泳の教室ですが、どのような実施状況であったか、教えてください。

谷口スポーツ推進担当理事

まだ定着していないこともあって、参加者も15名とやや少なかったのですが、子どもももちろんなのですが、保護者の方が、着衣のまま水に入った時に、いかに泳ぎにくいのかということが実感としてわかったという声が多かったです。子どもたちは、「服や靴が重たい」といった具体的な経験ができたと思います。実際にはあってはならないことですが、このようなことを知識として持っているだけで、危険を未然に防ぐことができるなど、随分違うと思います。

奥教育長

他にありませんか。無いようですので、以上で報告第31号を終わります。

続いて議案審議にうつります。

議案第22号「泉佐野市立小学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の一部改正について」を議題といたします。説明をお願いします。

茶谷教職員担当参事

本年1月7日に施行され、4月1日より運用されている、本市小学校35人以下の少人数学級推進事業ですが、対象とする学年の枠を広げるために要綱の一部改正をお願いします。

新旧対照表をご覧ください。

第1条中の「小学3年生と4年生を対象」を「小学3年生から6年生を対象」に改めるものです。本市教育振興基本計画の中で、学力・生活等の個別の教育課題に、よりきめ細かく対応するため、35人以下の少人数学級を実施することとしており、本年度より小学3年生と4年生を対象として実施しているものを、来年度以降は6年生まで枠を広げるものです。これにより、小学1年生は国基準の35人学級、小学2年生は府の加配措置による35人学級、3年生から6年生までは、市費教員配置による35人学級となり、全小学校全学級で35人以下の少人数学級となります。

なお、本日も承認いただきましたら、任期付小学校講師募集に向けての募集要項策定について、10月の教育委員会議で、お諮りしたいと考えております。

説明は以上です。ご審議のうえ、ご了承いただきますよう、よろしく申し上げます。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

畑谷委員

この度の措置で、増加するクラス数はどれくらいになるのでしょうか？

茶谷教職員担当参事

今年度は5クラス増え、本市で講師を配置しています。来年度は全体で8クラスとなりまして、さらに3名増員となります。

中村委員

どの小学校で増えるのですか？

茶谷教職員担当参事

今年度は、第二小学校、日新小学校、上之郷小学校、末広小学校、中央小学校です。来年度は日新小学校と中央小学校でさらに1クラスずつ増えて、日根野小学校が1クラス増えます。

畑谷委員

教室が足りなくなることはないのですか？

茶谷教職員担当参事

今のところは、対応可能と認識しております。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、議案第22号「泉佐野市立小学校35人以下の少人数学級推進事業実施要綱の一部改正については、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がございませんので、同議案は原案どおり承認されました。

続きまして議案第23号「泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。

茶谷教職員担当参事

本市の小中学校に勤務する府費負担の教職員の早出・遅出勤務に係る手続きについて、小中学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正をお願いします。これは、府立高等学校等の職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正に伴い、9月1日施行する旨、8月25日に大阪府教育庁より通知があり、本市でも同様の規則改正が必要になったためです。

新旧対照表をご覧ください。

「育児又は介護を行う職員についての特例」第4条の2で「休憩時間は、」の次に「公務の運営に支障がない場合に限り」を加え、同条1号の「保育所等への送迎」を「養育」に改めるものです。これまでの「保育所等への送迎」の要件を外し、「養育」と幅を持たせた改正となっています。ただし、公務の運営に支障がない場合に限るとあり、申請に対する承認については、各校の状況に応じて判断することとなります。

本日の教育委員会議において、承認いただき施行となりますが、大阪府教育庁の通知のとおり、さかのぼって9月1日付施行でお願いいたします。説明は以上です。ご審議のうえ、ご了承くださいますよう、よろしく申し上げます。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありましたが、委員の皆様でご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

無いようですので、議案第23号「泉佐野市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定については、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がございませんので、同議案は原案どおり承認されました。

次にその他がございますが、何かございますか。

鈴木文化財担当参事

「日根荘大木の里 歩き愛です」の実施について、「歴史館いずみさの平成28年度秋季特別展」についてご報告申し上げます。

まず「歩き愛です」ですが、大木地区を歩いて頂くイベントとなります。開催日は10月23日(日)、9時～12時に行います。10月15日～30日にかけて、大木地区で「コスモス園」を開催することになっています。それにあわせて、コースはコスモス園スタート地点、大木小学校をゴール地点とするコースと、大木小学校をスタート地点、コスモス園をゴール地点とするコースを用意しています。途中、スタンプラリーやクイズなどを經由していただき、距離を稼いでいただきます。

参加料として1000円頂くのですが、イベントに参加するために不可欠な歩数計を贈呈するのと、協賛企業から参加賞の提供をうけておりまして、ほぼ1500円に相当する記念品をお持ち帰り頂くことになっています。加えて、抽選による賞品も用意していますので、お得なイベントとなっています。なお、参加者数につきましては、300名限定とさせていただきます。

続いて「特別展」ですが、9月17日(土)～11月13日(日)まで開催します。長南中学校の体育館の立替えに伴う発掘調査において、古代の役所を伺わせるような遺物が出土しました。なかでも須恵器の亀型土器については、他に出土例が無いもので、これらのものを中心として展示しています。

奥教育長

ご質問はございませんか。

中村委員

5月にりんくうタウンで開催された「歩き愛です」に参加しました。その時はその日の朝から積算された歩数計を持って参加される方が沢山いたのですが、彼らはもう受付の段階で15000歩を超

えていて、一番良い賞品をもらった人は、33000 歩以上歩いた人だったのです。「みなさん毎日歩いたほうがいいですよ」という啓発活動なら良いのですが、こうなると、いきなり参加する意欲が失せるというか、不正ではないのでしょうか、判然としなないものを感じました。

鈴木文化財担当参事

今回は、抽選に加われる条件を 15000 歩以上としていますし、ゴールした時点での抽選となりますので、そのようなことは無くなると思います。

奥教育長

他になにかありませんか。

谷口スポーツ推進担当理事

第4回スポーツフェスタ泉佐野についてご報告申し上げます。今回はオープニングセレモニーで、教育委員の皆様にも見て頂いた「いずみさの体操」を、市民の皆様にも公表します。また、いろいろなスポーツを紹介することを目的として、「タグラグビー」・「スロージョギング」・「ジャイロキネシス」・「サウンドテーブルテニス」などの新たな競技を行います。さらにはセレッソ大阪にご協力いただいて、従来は経験者を対象としていたのですが、今年度は初心者を対象としたサッカー教室も開催します。なお昨年に引き続き、ジェイコムの方から MC でご協力いただきますので、今年も楽しい一日となると思います。委員の皆様にも奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

奥教育長

スポーツフェスタについてなにか質問はありませんか。他になにかありませんか。

明渡学校指導担当参事

平成28年度全国学力・学習状況調査の調査結果の分析と公開について、ご説明させていただきます。「平成28年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」では、「調査結果の公表を行う教育委員会、または、学校においては、単に平均正答数や平均正答率などの数値のみの公表は行わず、調査結果について分析を行い、その分析結果を併せて公表すること。さらに、調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策も速やかに示すこと。」「なお、平均正答数や平均正答率などの数値についての一覧での公表やそれらの数値により順位を付した公表などは行わないこと。」とされていますので、昨年同様、実施要領に即して公表をさせていただきます。

分析についてですが、10月初旬までに市教育委員会事務局で市全体の結果についての分析を、10月下旬までに各学校で調査結果の分析を行います。

分析結果につきましては、11月の教育委員会議でご審議をいただきまして、その後泉佐野市のホームページで公開をさせていただきたいと考えています。よろしく願いいたします。

奥教育長

今年度の全国学力状況調査の公表と分析、結果の公表について、なにか質問はありませんか。他になにかありませんか。

無いようですので、私からの報告を行います。9月の校園長会での説明について報告します。1の9月の議会についてですが、レジュメにあるとおり私から報告を行いました。2の特認校についてですが、8月の教育委員会議でご承認頂きました「泉佐野市立小学校特認校設置要綱の一部改正」と「平成29年度泉佐野市立小学校特認校児童募集要項の一部改正」について説明させて頂きました。3の土曜授業についてですが、保護者や子どもを対象としたアンケートを実施するということと、月ごとの学校アンケートの中に、「成果と課題」という内容を入れていくというお願いをしました。4の第4回SANOりんびっくについてですが、教育委員会の主催となって2回目なのですが、各学校への協力依頼をしました。5のその他で、①子ども安全対策会議についてですが、子どもの登下校時に保護者が自動車で送迎する事例が多くなっている中で、それに伴う安全対策はどうなっているのかという指摘があったので、各学校の状況を把握していただくよう、依頼しました。②選挙啓発についてですが、前回の参議院選挙の投票率が、10代は42.％と結構高かったのですが、20代がと

にかく低く、26.9%と下がります。以下、30代が33.7%から世代が上がるごとに上がっていくのですが、若い世代の投票率がふるわないので、小中学校のうちから投票の意味や大切さを教える機会を持って欲しいとお願いしました。また選挙管理委員会でも出前授業をやっているなので、それを活用することもあわせて依頼しました。③心臓移植の募金協力については、市として協力の推進に努めるなかで、幼・小・中の各学校や公共施設に募金箱を置いたり、幼・小・中の各学校で児童及び生徒に協力のチラシを配布するなどの協力を依頼しました。④ホームページの更新については、各学校からの情報提供の有益性を踏まえて、常に新しい情報提供ができるよう、頻繁に更新するよう依頼しました。⑤JC広報紙については、JCの存在を教職員に知って頂くためにも、広報紙ができたときには各小中学校に配布することを依頼しました。⑥ゆるきゃらグランプリ2016投票協力について、パソコンにIDを登録していただいたら、1日につき1回の投票ができますので、イヌナキンへの応援をお願いしました。また委員さん方のご協力についてもよろしく願いいたします。⑦観光ボランティア協会の紙芝居については、観光ボランティア協会で、泉佐野市にまつわる昔話などを紙芝居で作って頂いておりまして、従来は観光客などに見せて活用していたとのことでしたが、学校教育にも活用できないかという提案があつて、各学校に周知をしておきました。⑧車いすダンス、ジェネシスエンターテイメントさんですが、各地で車椅子ダンスについて公演や体験などの周知活動を行っています。本市でも障がい理解教育の一貫として実施すべく、来年度に公演する学校（1校）を、佐野台小学校に決定させて頂きました。

私からは以上です。何か、質問等ございますか。

中村委員

ゆるきゃらグランプリの投票日はいつまでですか。

奥教育長

10月24日（月）までです。タオルねこのたおにゃんと、どちらかに投票してください。

山下委員

SANOりんびくですが、昨年度からJCから移管された事業ですが、教育委員会として実施することの意義付けなどが共有されているのでしょうか？もし共有されていないのであれば、やめればいいと思うのですが。少なくとも、教育委員会議のような公の場で実施そのものの議論が必要なのではないでしょうか？

奥教育長

これについては、昨年度は教育委員会議なりで話し合った上で、JCからの移管及び事業の実施について、決定されたものでしょうか？

山下委員

いいえ。教育長報告のなかで、決定事項として知らされたと記憶しています。しかし、どれほどの意義があるのかよくわかりません。例えば、これは何十年も続いているサッカー大会などは、大阪体育大学が、大学としてこのような事業を主催したいという申入れがあつて、大学に移管したという事例があります。これは大学にとっても良いことでしょうし、事業としても順調に展開していきます。しかしSANOりんびくの場合は、JCにとっても、教育委員会にとってもどれだけの意義付けが議論されているのか、甚だ疑問です。

中村委員

校園長会に出席させていただいた時に、ある校長先生からの意見として、10月23日（日）に運動会があって、佐野中学校の校区内で、すこやかフェスタ佐野が10月16日（日）にある。土曜授業もからんできて、どこで教職員を休ませれば良いのか困っているというのがありました。確かにおっしゃる通りで、結局現場にしわ寄せが行っている形になっているように思います。また子どもたちも次から次にスケジュールを消化せねばならず、大変だと思います。

畑谷委員

毎年、各学校の校長先生方が、これに出す子どもたちを選ぶのが大変だということをおっしゃいます。第1回目はJ Cの主催だったということもあって、なんとかみんなで協力しながら実施しました。またこれが続けばそれはそれで良いとは思いますが、経緯が不明確ななかで教育委員会に事業移管されて、どうなんだろうと。また、これに出たい子どもがいるのかどうか。それも気になります。

山下委員

今年は10月15日（土）に実施するとなっていますので、出場選手の選出などすでに事業は始まっているのしょうから、実施するのしょう。しかし来年度は、4～5月の教育委員会議で話し合う必要があると思います。

奥教育長

事業が終わった段階で、問題点の整理もするなかで、今後については検討するというので、お願いしたいと思います。

赤坂委員

J Cから事業移管を受けた事業としては、郷土芸能の集いなど、過去に事例もありますが、SANOりんぴっくについては、事業として熟成していないのに、移管を受けたという点が問題なのではないか。今後このようなことがあった場合には、このことを踏まえて検討する必要があると思います。

北浦委員

我々教育委員と各学校現場の先生方、それから子供たちにとって、実施する意義があるか否かということだと思う。現場の先生方の話をよく聞く必要があると思います。

奥教育長

ありがとうございます。他にないかありますか。それでは事務局の方で他にございませんか。特に無いようでございますので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。次回、10月の定例教育委員会会議は、10月7日の金曜日、午後2時から、市役所4階 庁議室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。これをもって本日の会議は終了いたします。

（午後3時00分閉会）

上記のとおり、本市教育委員会の会議の顛末に相違ないことを記すため、ここに署名する。

平成28年 月 日

教育長

委員